

新学習指導要領に沿った“新学校団体プログラム” 三重大学と共同開発

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)は2017年7月20日(木)に、国立大学法人三重大学教育学部の監修により共同開発を進めている“新学校団体プログラム”を、三重大学教育学部附属小学校の5年生を対象に試験的に実施します。

本プログラムは、文部科学省が告示する新学習指導要領に沿って形成された鈴鹿サーキット独自の学習プログラムです。

“アクティブ・ラーニング*”手法の1つ“ジグソー学習”を用いて、「クルマ」を題材に各グループのメンバーが異なるワークショップを行います。「メカニック体験」「エネルギー体験」「デザイナー体験」「モータースポーツ体験」から児童が自ら選び、各ワークショップで学んだ経験・知識を持ち寄り、未来の新たなクルマを創造します。各々の異なる視点から意見交換をすることで、自動車産業や環境についての学びを深め、子ども同士の活発なコミュニケーションを促します。

鈴鹿サーキットは、“対話的・主体的で深い学び”や“体験活動の充実”につなげる学習プログラムを実施することで、社会貢献を目指します。

*アクティブ・ラーニング：学生が主体的に問題を発見し解を見出していく能動的学修



※“新学校団体プログラム”イメージ

“新学校団体プログラム” 実施試験要項

- 開催日時： 2017年7月20日(木) 10:00～11:30
- 開催会場： 鈴鹿サーキット内 レーシングシアター、交通教育センター、のりもの研究所、ほか
- 対象： 三重大学教育学部附属小学校5年生
- プログラム内容： ①体験学習…各ワークショップで専門知識の実験・体験
②事後学習…ワークショップで学んだことを持ち寄り意見交換